

3. 第5回 戸沢サミット in 小美玉の開催について

<チラシあり>

戦国時代末から江戸時代初期にかけて、常陸国小河城主、松岡藩主を経て新庄藩祖となった名君 戸沢政盛公を広く顕彰するため、戸沢氏にゆかりのある、小美玉市、高萩市、山形県新庄市、秋田県仙北市、岩手県雫石町の5つの自治体が一堂に会し、「第5回 戸沢サミット in 小美玉」を開催します。サミット開催により、参加自治体間で情報交換や連携を図りながら、相互交流を深めるとともに、地域活性化につなげていきます。

事前の周知と当日のサミットの様子をぜひご取材いただきたく、お願いいたします。

【サミット式典】

1. 事業名 「第5回 戸沢サミット in 小美玉」
2. 期 日 平成 29 年 7 月 22 日 (土) 14:00~16:10 予定 (受付 13:30~)
3. 会 場 小美玉市小川文化センターアピオス 大ホール (小美玉市小川 225 番地)
4. 内 容
 1. 歓迎アトラクション 小川太鼓
 2. 主催者・主賓・来賓・参加自治体首長あいさつ
 3. 講談—小川と戸沢政盛公—
 4. 記念講演会 『中世の小川と戸沢氏七千石の成立』

茨城大学人文社会科学部教授 高橋修氏 ほか

※サミット式典入場者には、諏訪原寛幸氏書き下ろしの戸沢政盛公イラストクリアフェイル・缶バッジを限定配布します。

【関連事業】 戦国武将イラストで著名な諏訪原寛幸氏のパネルイラスト展を開催

諏訪原 寛幸(すわはら ひろゆき)

1969 年茨城県生まれ。「真・三國無双」「戦国無双」などのゲームキャラクターや月刊「歴史街道」を始めとする出版刊行物へのイラストを提供している。2013 年に開催された「第1回戸沢サミット in 高萩」では戸沢政盛公のイラストも手がけている。



昨年の第4回戸沢サミット in 雫石の様子



戸沢政盛公が再建した鹿嶋神社



戸沢政盛公のイラスト

©諏訪原寛幸/七大陸

【戸沢政盛】1585 年~1648 年

出羽国角館の戦国大名。関ヶ原の戦いでは東軍に属し、佐竹義宣が秋田に国替えとなったのち、常陸国多賀郡(現高萩市)と茨城郡(旧小川町)などに4万石が与えられた。

慶長 19 年(1614)の大坂冬の陣では、小田原城に詰めて守衛にあたり、翌年の大坂夏の陣では、江戸城を守衛している。元和 8 年(1622 年)、山形藩最上家の改易後、最上郡と村山郡に2万石を加増されて新庄に移った。

【小美玉市との関わり】

慶長 7 年(1602)、政盛は小川小学校周辺にあった小河城に入城したが、慶長 11 年(1606)、多賀郡(高萩市)の松岡城に移った。小河城の在城は数年であったとされるが、政盛が再建した「鹿嶋神社」には、その際の棟札が残っている。

◇問い合わせ先

戸沢サミット in 小美玉実行委員会
(小美玉市教育委員会生涯学習課内)
担当：本田 信之
TEL0299-26-9111